

 Japan Society of Nursing Research	一般社団法人 日本看護研究学会	第1号 2019年7月1日 発行 編集発行 日本看護研究学会 (事務局) 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨1-24-1-4F 株式会社ガリレオ 学会業務情報化センター内 一般社団法人日本看護研究学会 事務局 TEL: 03-3944-8236 (直通) FAX: 03-5981-9852
	ニュースレター	

主な記事理事長挨拶 / お知らせ / 学術集会情報 / 委員会情報 / アップデート情報
地方会の活動 / 2019年度事業 / 編集後記**理事長挨拶**一般社団法人 日本看護研究学会
理事長 宮腰 由紀子

1975年に第1回目の学術集会を開催した日本看護研究学会は、会員の皆様をはじめ多くの皆様のご尽力により、今年2019年8月には第45回目の学術集会を迎えることとなりました。1970年に始まった看護研究協議会活動からは50年目となりますので、恐れ多いことながら改元の今年の令和元年は、本学会にとって感慨深い年といえます。このように半世紀におよぶ活動を積み重ねてこられましたことは、会員の皆様の真摯な活動はもとより、多くの関係機関・関係者の皆様からのご懇篤なるご支援ご協力の賜物と存じます。紙面より恐縮ですが、会員の皆様をはじめ関係機関・関係者の皆様に、改めて心より感謝申し上げます。

今後も本学会は、会員の皆様の看護研究活動に有益

で活発な学会活動の展開のために、社会の変化を見据え、より良い新しいシステムの導入に常に果敢に挑戦しながら、看護に貢献すべく努力を重ねて参ります。そのためにも、会員の皆様には、忌憚りの無いご意見をお寄せくださるとともに、より一層のご協力を賜りますよう、宜しく御願ひ申し上げます。

さて、このたび皆様へニュースレターをお届けする運びとなりました。随分と以前に存在していた活動通信ですが、装い新たに年2回の発行を計画しております。本学会は早い時期から学会誌の電子化を行ってまいりましたが、紙媒体のニュースレターにより学術集会の御案内と学会活動概要を、皆様がいつでも気軽にご覧いただければ幸甚です。

お知らせ**名誉会員 前原澄子先生がご逝去されました**

本学会立ち上げの世話人として以来、評議員・理事・常任理事・第13回学術集会長また各委員として、本学会を牽引くださり、平成22年には名誉会員に御就任いただきました前原澄子先生が、2019年5月19日にご逝去されました(享年82歳)。謹んで前原先生の御冥福を心からお祈り申し上げます。

なお、追悼文をホームページに掲載させていただきました。

学術集会情報

第44回学術集会報告



一般社団法人 日本看護研究学会
第44回学術集会会長 前田 ひとみ
(熊本大学)

元号が変わり、新たな歴史の波が訪れてきました。

昨年8月18日(土)・19日(日)に『看護学が創る変化の波』をメインテーマとした第44回学術集会を熊本県立劇場で開催させていただきました。両日ともに快晴に恵まれ、全国から1,252名のご参加をいただき、活発な討議が繰り広げられました。学術集会にご参加くださった皆様、さまざまな形でご支援いただきました皆様に、改めて深く感謝申し上げます。

今回の学術集会は、看護学の若手研究者育成に貢献したいという思いをこめてプログラムを企画しました。シンポ

ジウムや研究発表を通して、グローバルに活躍できる若手研究者が育ってきていることを実感でき、とてもうれしく感じました。一方で、看護教員は教育の負担が大きく、研究に取り組む余裕がないという悩みを解決する波をどのように作っていくか、改めて考えさせられた学術集会でした。

最後に、熊本城の大天守は今年の秋には復旧予定です。復興に向けて着実に歩みを進めている熊本に、是非またおこしくください。

第45回学術集会のご案内



一般社団法人 日本看護研究学会
第45回学術集会会長 泊 祐子
(大阪医科大学)

メインテーマ：研究成果を一ためる、つかう、ひろげる— 社会に評価される看護力
会 期：2019年8月20日(火)・8月21日(水)
会 場：大阪国際会議場

今回の学術集会のメインテーマを「研究成果を一ためる、つかう、ひろげる—社会に評価される看護力」とし、臨床で埋没している正当な看護力を可視化し、それを一過性の出来事や、ボランティアとするのではなく、社会制度の中で正当に評価され、継続されていくためにはどのように活動していくべきかを参加者の方々と熱く語り合いたいと考えております。

そのために主要プログラムは、

特別講演：「質的研究の構築と発展—理論から実践へ—」

基調講演：「ケアの科学と政策」

教育講演：

1) 臨床研究データの集積と活用法

-Research Electronic Data Capture (REDCap)

2) 産官学連携により研究成果をつくり、つかい、ひろげるために

3) 看護ガイドラインの基盤となる研究成果の活用と構築
シンポジウム：

1) 社会にひろげる看護の成果・知恵・経験

2) 診療報酬につながる研究成果の示し方・つかい方を準備しております。

このほか、交流集会が15題、一般演題は400題を超える発表を予定しています。

つきましては、大勢の皆様との熱い討論を楽しみに、本学術集会へのご参集を心よりお待ちしております。

委員会情報 (主な活動内容)

総務担当

総務は本学会の万（よろず）業務を担当します。仕事内容は一見、分かりにくいですが、学会事務局（委託業者のガリレオさん）と宮腰理事長の間にあって理事長の補佐的業務を担います。会員の入退会や役員人事に関すること、会員への情報提供や広報的な仕事が主なものです。学会活動の中で疑問や相談事がありましたら、どうぞ遠慮なくお尋ねください。大抵のことは窓口の事務局で解決すると思いますが、誠心誠意応えさせていただきます。



深井喜代子
(東京慈恵会医科大学)



鈴木みずえ
(浜松医科大学)

渉外担当

渉外担当として、平成30年度日本看護系学会協議会社員総会6/27、臨時社員総会10/27に出席し、47学会で構成されるJANAの活動方針の重大性とその議論を報告しました。日本学術会議における生活科学委員会看護学分科会の活動状況については、川口孝泰先生（東京情報大学看護学部看護学科教授）のご協力を得て伝えています。関連情報は事務局より理事・監事・評議員・会員へ送信しています。また、看護系学会等社会保険連合（看保連）等に関連することも渉外担当で対応しています。本会が他組織と連携して看護学の学術に貢献できるように努めてまいります。



安藤 詳子
(名古屋大学)



山口 桂子
(日本福祉大学)

会計担当

本学会の資産および会計の管理を担当しています。会費納入率は毎年90%を超えており会員のみなさまに感謝いたします。これからも適切な資産および会計の管理に尽力いたします。



任 和子
(京都大学)

石川ふみよ (上智大学)
宇佐美しおり (四天王寺大学)
国府 浩子 (熊本大学)

編集委員会

編集委員会は、投稿された論文・資料等の査読審査と日本看護研究学会誌の編集・発行の基本方針の決定、論文掲載に関すること、投稿規程等の改変に関する活動をしています。また、編集委員会では任期2年間の査読委員を選出し、査読審査にご協力いただいています。今年度の査読委員の選任では研究分野における研究業績の他、これまでの査読辞退回数等も加味し専任する予定です。学術集会時に毎年投稿しやすくするための交流集会を企画・開催し、会員の皆様から貴重な論文をお寄せいただき日本看護研究学会誌の学術誌としての質を高められるよう委員一同張り切ってがんばっております。査読のご協力と論文投稿の両面から、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

委員長



高見沢恵美子
(関西国際大学)

委員

吾郷美奈恵 (鳥根県立大学)
池内 和代 (四国大学)
岩佐 幸恵 (徳島大学)
上野 栄一 (福井大学)

岡田 淳子 (県立広島大学)
勝山貴美子 (横浜市立大学)
木立るり子 (弘前大学)
工藤 美子 (兵庫県立大学)
國方 弘子 (香川県立保健医療大学)
古賀 明美 (佐賀大学)
清水 安子 (大阪大学)
出口 禎子 (北里大学)
藤田 君支 (九州大学)
法橋 尚宏 (神戸大学)
本田 育美 (名古屋大学)
前田 樹海 (東京有明医療大学)
道重 文子 (大阪医科大学)
吉田 澄江 (東京医療保健大学)

委員会情報 (主な活動内容)

奨学会委員会

奨学会の目的は、優秀な看護学研究者の育成の為に、その研究費用の一部を授与(奨学金)し、研究成果により看護学の発展に寄与することです。委員会は、奨学研究の募集、選考、成果発表に関与する活動をおこなっています。奨学金は1題50万円以内です。会員歴があるなど応募には条件があります。募集内容は毎年9月上旬にご案内しております。若手研究者をはじめとした多数の応募を期待しております。

委員長



神田 清子
(高崎健康福祉大学)

委員

阿部 幸恵 (東京医科大学)
岡田 由香 (日本福祉大学)
工藤せい子 (弘前大学)
良村 貞子 (北海道大学)

学会賞・奨励賞委員会

過去3年間の原著論文から、学会賞は看護学の発展に貢献できる論文の筆頭者1名、奨励賞は独自性があり発展が期待できる5論文の授与に関わっています。授与に至るまで、各委員が約35編前後の原著論文の評価を行い、1月中旬に委員会を開催し慎重に審議・選定、その後委員長が推薦書・申請書類を作成、メール会議、2月末までに理事長に推薦、年度末の理事会で審議、5月中旬の社員総会で承認を受ける、という過程を担っています。

委員長



工藤せい子
(弘前大学)

委員

阿部 幸恵 (東京医科大学)
岡田 由香 (日本福祉大学)
神田 清子 (高崎健康福祉大学)
良村 貞子 (北海道大学)

将来構想検討委員会

日本看護研究学会のこれまでの活動を顧みながら当学会の特質を確認し、直近の学術集会や学会誌の成果などの分析と各委員会における検討をもとに、現在および将来の看護界と社会情勢の変動と照合しながら、今後の本学会活動の充足と発展を目指して、本学会が抱える課題を明らかにしながら解決への献策を重ねています。この数年は学術集会・地方会・研究支援・国際活動のあり方の再考を通し、皆様により有益な活動を模索しています。

委員長



宮腰由紀子
(理事長)

委員

安藤 詳子 (副理事長)
深井喜代子 (副理事長)
任 和子 (会計担当常任理事)
鈴木みづえ (総務担当常任理事)
山口 桂子 (渉外担当常任理事)

研究倫理委員会

本委員会では、看護研究倫理に関する整備や啓蒙活動、研究倫理審査をしています。昨年度は第44回学術集会で特別企画「看護研究を実施するために理解しておくべき研究倫理」を開催しました。また、1件の研究倫理審査を実施しました。今年度は、第45回学術集会で「質的看護研究における倫理」をテーマに特別企画を予定しています。

委員長



山勢 博彰
(山口大学)

委員

勝山貴美子 (横浜市立大学)
佐藤 洋子 (北海道大学)
祖父江育子 (広島大学)

国際活動推進委員会

会員が国際交流あるいはグローバルな視野に立って研究活動ができるような支援を目指して活動を行っています。今期委員会の活動は、国の施策から外国就労者の受け入れが活発化し、さらに2020年のオリンピック・パラリンピック開催による訪日外国人の増加に伴う日本の医療の枠組みで、外国人をどのように看護できるのかに注目し、今後その研究、教育について情報提供していきたいと考えています。

委員長



吉沢豊子
(東北大学)

委員

岡 美智代 (群馬大学)
中平 みわ (京都光華女子大学)
森山ますみ (国際医療福祉大学)

委員会情報 (主な活動内容)

看保連ワーキング

本ワーキングは、(社)看護系学会等社会保険連合に加盟している本学会が、診療報酬改定等につなげるエビデンスを提示するために、将来構想検討委員会の中で、5年前から活動をしています。具体的には、「障がい児と家族の生活世界を広げる支援事業」「超高齢社会における高齢者への効果的な看護技術や診療報酬・介護報酬のあり方」をテーマに、2020年度同改定に向けたデータ収集や要望書の作成・提出のための取組みを行っています。

代表

山口 桂子
(日本福祉大学)

メンバー

叶谷 由佳 (横浜市立大学)
泊 祐子 (大阪医科大学)

大規模災害支援事業委員会

本委員会は、2011年の東日本大震災後に発足し、定款第4条8)の社会貢献事業の一環として、大規模災害で被災された看護学生や看護学研究者への支援のための助成活動を行っています。2018年度は、西日本等の豪雨や、北海道胆振東部地震などの災害があり、合計11件の助成をさせていただきました。会員の皆様からのご寄附等の支援に深く感謝申し上げます。災害が起こらないことを願いつつも、発災時には迅速な活動につなげていく所存です。

委員長

山口 桂子
(日本福祉大学)

委員

楠葉 洋子 (国際医療福祉大学)
工藤せい子 (弘前大学)
宮腰由紀子 (日本福祉大学)

アップデート情報



学会ウェブサイトリニューアル

学会ウェブサイトが8年ぶりに完全再構築し、2019年4月1日に公開いたしました。主な変更点を紹介します。

総務協力員 (ホームページ等) 塩飽 仁

- デザインを一新
 - メニューを単純化し、目的の情報にアクセスしやすくなりました。
 - 利用頻度の高いメニューはバナー化しました。
- スマートフォンに対応
 - アクセスすると、自動的にスマートフォンに合わせた画面構成で表示されます。
- ドメイン名の変更
 - 社会的信用性の高いドメイン名「jsnr.or.jp」に変更しました。
- 新URLは「<https://www.jsnr.or.jp/>」です。
- 旧URLにアクセスしても、自動的に新URLに接続します。
- 入会手続きの完全電子化
 - 入会手続きはオンラインで全て行えるようになりました。
- その他
 - 学会誌は最上段が最新刊になるよう変更。
 - サーバ変更、ソフトウェア更新による経費節減、操作性とセキュリティの向上。

より利便性の高いサイトとなるよう、今後もアップデートに取り組んでいきますので、ご活用ください。



次年度以降の学術集会情報

第46回学術集会

学術集会会長： 城丸 瑞恵 (札幌医科大学)
会 期： 2020年8月27日 (木)・28日 (金)
開 催 場 所： 札幌コンベンションセンター (札幌市)

第47回学術集会

学術集会会長： 塩飽 仁 (東北大学)
会 期： 2021年8月21日 (土)・22日 (日)
開 催 場 所： 仙台国際センター (仙台市)

地方会の活動



北海道地方会

【地方会活動の特徴、トピックスなど】

北海道地方会は2019年4月末時点で会員数247名と最も小規模な地方会です。会員数が少ない＝運営資金も少ないことから、その中で鋭意工夫しながら活動しております。年々、減少傾向にある会員数を食い止められるような魅力的な地方会の活動展開が課題と感じています。

北海道地方会の特徴は、研究奨励賞を設けていることです。選考委員会により、本学会誌に投稿された論文もしくは学術集会における発表の抄録を精査した上で表彰者を選出し、毎年総会場で表彰式を行っております。

【2019年度・地方会学術集会案内】

今年の地方会活動は主として総会ならびに基調講演とシンポジウムの開催、年度末に特別講演会を企画しています。

今回の基調講演・シンポジウムの全体テーマは「日々の看護実践と研究とのつながりを考える～研究の目と芽を育む～」とし、真田弘美先生の基調講演の後、臨床からの事例提供に基づき研究や実践経験をお持ちのシンポジストとともにディスカッションをして頂く予定です。日々、看護研究に取り組んでいる方、これから取り組もうと考えている方、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会長 樋之津淳子 (札幌市立大学)



2019年7月28日 (日)

会場：札幌市立大学桑園キャンパス
大学院棟1階大講義室

総会：12:30～13:00 (開場12:00)

基調講演：14:05～15:10

テーマ：「研究成果を臨床に還元する」

講師：東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 教授 真田 弘美 先生

シンポジウム：15:15～16:10

テーマ：「日々の看護実践と研究とのつながりを考える」

座長：堀口 雅美 先生 (札幌医科大学保健医療学部看護学科)

シンポジスト：真田 弘美 先生

(東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻)

鷺見 尚己 先生

(北海道大学大学院保健科学研究院 基盤看護学分野)

葛西 陽子 先生

(医療法人 溪仁会 手稲溪仁会病院 看護部)

東谷 敬介 先生

(市立札幌病院 精神看護専門看護師)



東海地方会

【地方会活動の特徴、トピックスなど】

東海地方会は、愛知・神奈川・岐阜・静岡・三重の5県に所在する会員をもって組織されています。主な事業は、学術集会・セミナー・東海地方会総会の年1回の開催、年1回のニュースレターの発行です。地方会の事業や予算については、年2回の世話人会にて検討し、総会を経て実施されています。1996年より開始された学術集会は、今年で24回目をむかえ、各プランナーの豊かな専門性と感性をもとに様々なテーマが設定され、今年度で23回目となります。セミナーは、2007年より開始し、今年度で13回目をむかえます。

会長 白尾久美子 (日本福祉大学)



【2019年度・地方会学術集会案内】

第24回東海地方会学術集会

日程：2020年3月20日 (金)

場所：豊橋商工会議所

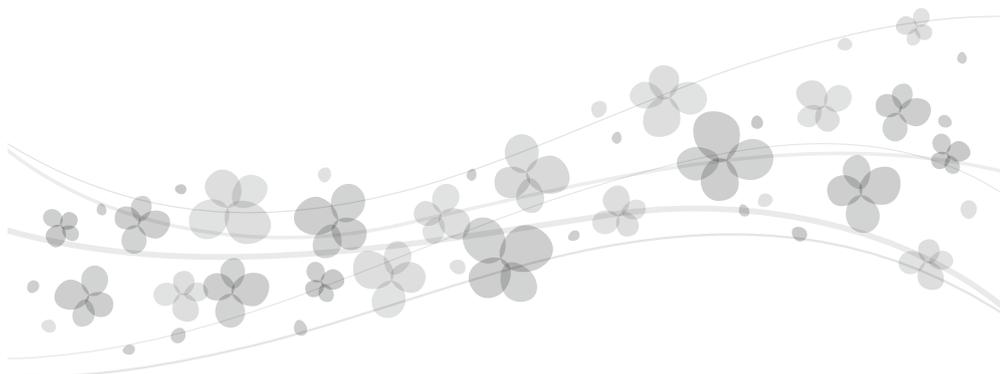
豊橋市花田町石塚42-1

プランナー：蒔田 寛子

(豊橋創造大学保健医療学部看護学科)

テーマ：「共に創造する看護の知

－地域を護り育む看護の力－



地方会の活動



近畿・北陸地方会

【地方会活動の特徴、トピックスなど】

本地方会の目的は、本地方会是一般社団法人日本看護研究学会の地方組織として、近畿・北陸地区に於いて、看護学の研究と教育並びに実践の進歩発展に寄与することを目的として活動を行っています。

本地方会の特徴は、次のとおりです。

1) 継続セミナーの開催

近畿地区と北陸地区で毎年開催しています。本セミナーは看護研究を本格的にやってみたい方、院内看護研究で壁を感じ困っておられる方に対して、実際の研究過程を体験しながら、研究方法を修得し、発表につなげる活動をしています。研究に対する情報共有の場にもなっています。

2) ニュースレターの発行

近畿・北陸地方会の会員の看護および看護教育に関する

世話人代表 上野 栄一 (福井大学)



情報を共有する場としています。

3) リレーブログ

会員同士のブログを開設し、研究に関する事項を中心に会員同志の情報共有の場となっています。

【2019年度・地方会学術集会案内】

2019年度の日本看護研究学会第33回近畿・北陸地方会学術集会の開催要項は次の通りです。

開催期日：2020年3月21日(土)

開催場所：聖泉大学

学術集会長：小山 敦代 (聖泉大学学長)

(滋賀県彦根市肥田町720番地)

(今後、詳細はホームページに掲載をいたします。皆様のご参加をお待ちしております。)



中国・四国地方会

【地方会活動の特徴、トピックスなど】

本地方会は、1986年(昭和61年)に、他の地方会に先駆けて、中国・四国地方会の前身であるC地区(近畿・四国)地方会として発足いたしました。1993年、新たに中国・四国地方会となり、2003年4月より現在の運営体制になりました。「自由で自立した精神」をモットーとし、看護学の研究と教育ならびに実践の進歩・発展に寄与することを目的に活動し、毎年、学術集会の開催、ニュースレターの発行を重ねております。この間の活動は、「中国・四国地方会設立30周年記念誌」に取りまとめ、ホームページ[アーカイブ]に掲載しておりますので、是非ご一読ください。

会長 岩佐 幸恵 (徳島大学)



【2019年度・地方会学術集会案内】

本年度の地方会学術集会は(委員長：吉永純子)、2020年3月8日(日)に徳島文理大学において開催いたします。メインテーマを「探求心を育み実践を支える看護研究」とし、木下康仁先生、金井一薫先生のご講演も予定しております。中国・四国地区の会員だけでなく、看護学生の皆さんや全国からのご参加も歓迎いたします。



九州・沖縄地方会

【地方会活動の特徴、トピックスなど】

本地方会の主な活動は、地方会主催の各県もちまわりの学術集会、総会の開催、ニュースレターの発行などがあり、学術集会においては、地方から発信するテーマを基軸としていること、細分化されない看護の総合学会として若手研究者の育成に寄与しているのが特徴です。学会が多数存在する現在において、会員の皆様のニーズが変化しており学術集会の参加者数が少ないこと等が問題となっておりますが、学術集会長をはじめとした企画委員・運営委員等の努力のもと、地方会らしいアットホームな学術集会が毎年開催され好評を得ています。

会長 楠葉 葉子 (国際医療福祉大学)



【2019年度・地方会学術集会案内】

第24回日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会

テーマ：「事例報告から事例研究へ

～看護実践知の創造にむけて～」

学術集会長：原田千鶴先生

(大分大学医学部看護学科教授)

会期：2019年11月9日(土) 9:00～16:00

会場：大分大学医学部挟間キャンパス

2019年度事業

※詳細は関連項目をご参照ください。

日 時	内 容	場 所
2019年 5月18日(土)	【東海地方会】2019東海地方会セミナー 多剤併用によるさまざまな有害事象について https://www.jsnr.or.jp/district/tokai/summerseminer.html	ウインクあいち
5月19日(日)	2019年度第1回理事会・2019年度定時社員総会	秋葉原コンベンションホール
7月28日(日)	【北海道地方会】シンポジウム https://www.jsnr.or.jp/district/hokkaido/info/2019.html	札幌市立大学 桑園キャンパス
8月19日(月)	2019年度第2回理事会* 日本看護研究学会第45回学術集会看護研究セミナー http://jsnr45-2019.umin.jp/seminar.html	大阪国際会議場
8月20日(火) 21日(水)	日本看護研究学会第45回学術集会 学術集会会長：泊 祐子 http://jsnr45-2019.umin.jp/	大阪国際会議場
8月20日(火)	2019年度会員総会	大阪国際会議場
10月12日(土)	【近畿・北陸地方会】第29回看護研究継続セミナー https://www.jsnr.or.jp/district/kinki-hokuriku/seminar/2011/08/infomation.html	福井医療大学
11月1日(金) 30日(土)	第6回評議員選挙	
11月9日(土)	【九州・沖縄地方会】第24回学術集会 学術集会会長：原田千鶴 http://www.med.oita-u.ac.jp/jsnr-kyuoki24/	大分大学医学部 挾間キャンパス
11月23日(土・祝)	【近畿・北陸地方会】第30回看護研究継続セミナー https://www.jsnr.or.jp/district/kinki-hokuriku/seminar/2011/08/infomation.html	滋賀医科大学
2020年 3月8日(日)	【中国・四国地方会】第33回学術集会 実行委員長：吉永純子	徳島文理大学
3月20日(金・祝)	【東海地方会】第24回学術集会 集会会長：蒔田寛子	豊橋商工会議所
3月21日(土)	【近畿・北陸地方会】第33回学術集会 学術集会会長：小山敦代 https://www.jsnr.or.jp/district/kinki-hokuriku/meeting/	聖泉大学

* 以後、今年度中に1～2回を開催予定

— 編集後記 —

2019年度から紙媒体でニュースレターを発行することになりました。そこで、総務から会員の皆様にご案内がございます。ニュースレターが届きましたら、是非一度はお目通しください。見出しと写真だけでも結構です。そして、一読された後は（破棄しないで）、専用のファイルに保存していただければ幸いです。コインさえ電子化する時代ですが、アナログ情報が研究思考の活性化に役立てられることを期待いたします。

(総務担当 深井)

